

「播磨国風土記 1300 年祭」記念事業に関する経済効果について(修正版)

兵庫県立大学政策科学研究所地域経済指標研究会

日本最古の地誌である『播磨国風土記』が今年、編纂 1300 年を迎える。これにちなみ加西市では、『播磨国風土記』に登場する根日女伝説の舞台である玉丘史跡公園において「加西市播磨国風土記 1300 年祭」が平成 27年 5月 4日～ 5日に開催された。

この 5月に開催された「播磨国風土記 1300 年祭」の本祭に向け、各種事業が平成 25年度から平成 27年にかけて展開され、「播磨国風土記」について認識を深める契機となるとともに、魅力ある観光資源として多くの人々の関心を集めた。各種事業では市民や地元団体によるイベント等との連携・支援や本事業の情報発信や商品企画などがあった。こうした事業への取り組みを反映し、加西市内外から多くの人々が「播磨国風土記」ゆかりの地や市内観光地に集まり、移動・飲食・買物・宿泊などの経済的な効果が伴った。

経済効果は、観光キャンペーン時の消費活動に限らず、情報発信や歴史資源の再確認、観光地におけるふれあいなど中長期的な要素もあげられるが、本調査では、「播磨国風土記」関連事業について、加西市提供資料により関連事業期間中の観光消費を主体とした経済効果に限り推計を行った。

1 関連事業に関わる入込客数

関連事業のプレイベント（平成 26年 10月）は 3,000 人、本イベント（平成 27年 5月）は、14,500人の来場者があった。玉丘史跡公園（平成 26年度）は 35,500人で前年度と比べ 17.2%増加した。

加西市主要観光施設入込客数		(単位：千人、%)	
施設名	観光客入込数		増減率 H26/H25
	平成25年度	平成26年度	
兵庫県立フラワーセンター	223.5	225.1	0.7
勤労者体育センター	69.1	84.6	22.5
青野運動公苑	69.8	70.4	0.8
北条市街地（節句まつり、宿はく等）	63.6	69.0	8.6
玉丘史跡公園	30.3	35.5	17.2
いこいの村 はりま	50.9	51.0	0.2
その他の施設等	387.1	317.9	▲ 17.9
加西市内主要観光地点計	894.2	853.5	▲ 4.6
(出所) 加西市調べ			

(2015年5月8日から掲載しておりました上記表の一部を加筆修正いたしました。お詫びして訂正をいたします。)

市民や地元団体によるイベント、講演会、ワークショップ、自転車・鉄道を利用したまちめぐりやイメージキャラクターネッピーを使用した商品企画など様々な関連の活動が展開された。本事業が円滑に展開されるよう主催者側による運営・維持管

理、情報発信、警備などの役割も欠かせない要素となる。こうした観光拠点への訪問、地元の関連行事参加など、それぞれ消費支出を伴う活動が行われた。

2 事業展開による消費支出額の範囲

1 推計の対象期間：準備期間及び本祭までの期間

平成 25 年度、平成 26年度及び平成 27年 4月、5月

2 消費支出額の範囲

- ・交通費、宿泊費支出増
- ・商業・飲食等の関連消費
- ・キャラクター「ネッピー」のロゴを使用した商品や風土記を冠した商品企画・販売
- ・新たな消費活動による生産・雇用

3 事業展開による消費支出額の推計

加西市播磨国風土記 1300年祭実行委員会資料や各種ヒアリング等により推計した。

(1) 市内への訪問者及び関連事業参加者

加西市をはじめ、県下各地においてはイベント、講演会、ワークショップ、自転車・鉄道を利用したまちめぐりなど様々な活動が展開されており、各種イベント等への参加者は、歴史的な関心の高まり等もあり、播磨国風土記ゆかりの史跡などを訪問した。プレイベント（平成 26年 10月）は約 3,500 人、1300年祭（平成 27年 5月）は、約 14,500人がイベント会場（玉丘史跡公園）を訪れた。

なお、日帰り客、宿泊客の別は、「平成 25年度兵庫県観光客動態調査」の東・北播磨地域の比率（日帰り客 96.6%、宿泊客 3.4%）により推計した。

観光客入込数・イベント参加者			(単位：千人)	
項目	平成25年	平成26年	平成27年	合計
	4月～12月	1月～12月	1月～5月	
関連イベント	38.0	74.3	17.0	129.3
その他施設	22.4	31.9	13.2	67.5
合計	60.4	106.2	30.1	196.8
日帰り(推計)	59.1	103.7	29.6	192.4
宿泊(推計)	1.3	2.5	0.6	4.4

(2) 一人当たり消費額

観光客の消費単価：日帰り客：7,200 円、宿泊客（西播磨）：33,900円

（資料）姫路市観光交流推進室（2014）「姫路官兵衛プロジェクトアンケート調査」（西播磨地域値）を準用

(3) 観光消費支出総額

観光消費支出増額は 15.4億円であり、内訳は次表のとおり。

観光消費支出総額		(単位：億円)		
	平成25年 4月～12月	平成26年 1月～12月	平成27年 1月～5月	合計
宿泊費	0.18	0.35	0.09	0.63
交通費	2.21	3.90	1.10	7.21
飲食費	1.44	2.54	0.77	4.75
その他費用	0.87	1.54	0.44	2.85
合計	4.70	8.34	2.39	15.43

4 経済効果推計結果

観光客等の飲食・買物などの消費活動は、他の産業の生産を誘発する。例えばレストランで食事をすれば、料理に使用される米・野菜や肉・魚（農業・水産業）、調味料、パン、デザート（食品工業）など関連した産業の需要につながる。

こうした経済効果を地域経済構造分析研究会（兵庫県・神戸大学）「平成22年産業連関表」を用いて推計すると、「播磨国風土記 1300年祭」関連に係わる兵庫県への経済効果（生産誘発額）は、25.1億円であり、うち内訳は次表のとおり。

県内経済効果の推計結果			(単位：億円、人)	
項目	直接効果 (最終需要額)	経済効果 (生産誘発額)	付加価値誘発額	就業者誘発数
平成25年4月～12月	4.9	7.6	4.4	76
平成26年1月～12月	8.5	13.1	7.6	143
平成27年1月～5月	2.8	4.4	2.6	43
合計	16.2	25.1	14.6	262

(資料) 地域経済構造分析研究会(2013)「平成22年兵庫県産業連関表」

5 歴史的資源を活かした地域交流活動に向けて

「播磨国風土記 1300年祭」事業を通じて、加西市及び関連地域の歴史的価値に係わる関心が高まった。今後、地域に点在する歴史資源を再識・再発見し、情報発信を継続していくことが、地域の新たな魅力づくりに寄与すると考えられる。市民・地元団体等が地域の歴史的価値を見直し、親しんでいくことは地域の誇りを高めることにもつながる。

(参考)経済効果について

(1) 経済効果（生産誘発額）

直接効果（最終需要額）に間接効果を加算した額

・直接効果（最終需要額）

需要発生額で事業実施経費、施設維持経費、家計消費支出などの支出のうち各産業部門にもたらされた金額

・間接効果 産業連関分析により経済波及効果を推計（1次効果 +2次効果）

原材料波及効果（1次効果）：宿泊施設の食材（農業）の調達等

家計迂回効果（2次効果）：所得増による家計消費増が新たな売上増

(2) 付加価値誘発効果

生産誘発額のうち、生産に要した原材料やサービスなどの中間投入額を控除したもので、雇用者の賃金や企業の営業利益などである。一定期間における付加価値の合計額がGDPである。

(3) 就業者誘発数

経済効果を就業者数に換算したもの